

# みなとの風

〒231-8682 横浜市中区新山下3-12-1 / TEL 045-628-6100(代)

<http://www.yokohama.jrc.or.jp/>

●発行: 2011年1月 地域医療連携室

## Contents

- 院長年頭のご挨拶 ..... 1
- 新副院長就任のご挨拶 ..... 1
- 健診センターのご紹介 ..... 2

- 心臓血管外科のご紹介 ..... 3
- セミナーのご報告 ..... 4

## 新春のご挨拶

院長 四宮 謙一

新年あけましておめでとうございます。

横浜市立みなと赤十字病院は7年目を迎えます。西岡清前病院長の超人的な働きにより病院の体制はほぼ整備され、激動の黎明期から2011年はまさに躍進の時代に入るものと期待しています。

地域医療連携による中核病院としての機能をさらに充実させることはもちろんのこと、より高い医療水準を目指すことによって、より多くの患者紹介を受ける、より質の高い病院に変貌していきたいと考えています。質の高い医療を達成するための一つ

のKeyは、質の高い医療人を育てることにあると考えます。質の高い治療を実践できる医師、それを支える質の高い薬剤師、看護師、技師、事務、すべてがそろわなければ質の高い医療は不可能です。2011年の横浜市立みなと赤十字病院の最重要課題として、「質の高い次の医療人を育てる」をあげたいと思っています。

本年も職員一同、心を一つにして地域医療にまい進していきたいと考えています。どうかよろしくお願いいたします。

## 新副院長就任のご挨拶

当院ではより医療機能をたかめるべく、昨年10月から副院長を3名体制といたしました。従前からの小森副院長はもとより、新たに就任しました両名をどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



副院長 阿部 哲夫

昨年10月に副院長に任命されました。開院後5年、当初の予測通りには経営が軌道にのらなかつた様ですが、今日では各部署の地道な努力が徐々に浸透してきていると感じております。特に救急疾患対応には当初から努力がなされ圧倒的な救急車搬送件数となり、大きなアピールポイントとなりました。今後は他部署も特徴を十分にアピールして実績を伸ばしていく時期であります。また、病診・病病連携の推進が円滑な地域医療の発展には必須であり、パスをはじめとした環境整備も大事です。達成すべき目標は多々ありますが、一步一步目標に向かって皆様と共に努力する所存です。今後ともどうぞご指導ご支援のほど宜しくお願ひいたします。



副院長 渡辺 孝之

10月1日付で副院長を拝命いたしました。赴任してから5年。西岡前院長の下、診療科以外に臨床研修、治験審査、外来業務、検査部など様々な仕事をして参りましたが、この度、小森、阿部両副院長とともに四宮院長を補佐し病院運営に携わることになりました。開院当初は医師数が不足し、中核病院として十分な機能が発揮できませんでしたが、一つ一つ問題点を克服しながら、ようやく信頼される病院になる土台ができたと感じております。今後は、この分野ならみなと赤十字が一番といえるような特徴ある診療科を充実させながら、より一層地域の皆様に頼られる病院創りに貢献したいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

# みなとトピックス

## Topics 健診センターのご紹介 ~総合医療の要として~

健診センター副部長 伊藤 美奈子

当院の健診センターは、市立みなと赤十字病院開院時の2005年4月に開設されました。旧横浜赤十字病院の時代から健診サービスの提供はありました。事務員3名、内科部長1名が兼任という小規模なものでした。新病院開院1年後の2006年4月から専任医が着任し、現在は人間ドック専門医1名、臨床検査技師1名、看護師2名、事務員6名、合計10名が所属しています。



2階中庭が見える健診待合室

2010年9月に日本人間ドック学会研修関連施設の委嘱を受け、人間ドック認定医・専門医をめざす医師の受け入れも可能です。

当院で実施している健診の種類は、1日人間ドック、2日人間ドック、企業健診、特定健診、特定保健指導、市健康診査、市がん検診、渡航健診、被爆者健診、妊婦健診、乳幼児健診などです。ここ数年の年間受診者数は延べ人数で1万人を超えていました。実績の詳細については当院のホームページをご覧下さい。アンケート結果や投書の要望をもとに、当センターで考案・工夫した3つの特徴を下記にまとめます。

① 苦痛の少ない経鼻的上部消化管内視鏡検査を2007年10月から選択できるようになりました。経口内視鏡検査では検査を躊躇する受診者もいましたが、経鼻内視鏡を導入してからは検査希望者が急増しました。

② 2008年4月、横浜の老舗ホテルニューグ

ランドと提携し、人間ドック宿泊プランの提供をスタートしました。「ドック」とは、もともと船のメンテナンスをする場所です。健診センターで人間ドックを受けた後、高級ホテルで心と体を十分に癒していただきたい、という強い思いから、このプランは生まれました。新聞や雑誌などマスメディアで紹介され、認知度が高まっています。自分へのご褒美として利用される方、リピーターの方もあり、大変好評です。

③ 2009年4月に大腸ドックを開始しました。毎週水曜日の午後に行っています。人気が高く、予約枠がすぐに埋まる状態です。

近年、臨床の専門性が細分化され、一個人の疾患を複数の診療科で別々に診る傾向があります。しかし、同じ体の中で起きる事は関連がある、という見方から、一人の人間をメンタル面も含めてトータルで診る、ことの重要性も高まっています。こうした観点から人間ドック・健診事業は、予防医学としてだけでなく、心身を全体的に捉えられるというメリットも含めて、ますます健康管理における役割は増大していくと思われます。つまり、総合医療の要、チーム医療の導入部として病院全体に、さらに地域医療に貢献できると考えています。受診者中心の良質な健診サービスを提供できるよう、地域医療機関とより綿密な連携を図りたいと思っています。ご意見ご要望などがありましたら、遠慮なくお聞かせ下さい。



私たちが健康管理をサポートします

# みなとトピックス

## Topics 心臓血管外科 僧帽弁形成94%の達成率

心臓血管外科部長 田渕 典之

### 手術症例90例の報告

開院5年余で、僧帽弁手術（非リウマチ性）が90例に達しました。

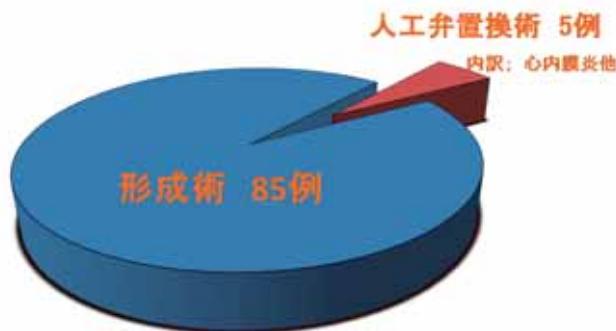
形成術は85例で、形成率94%と高い技術を示しています。

（全国平均は50 - 60%です。）

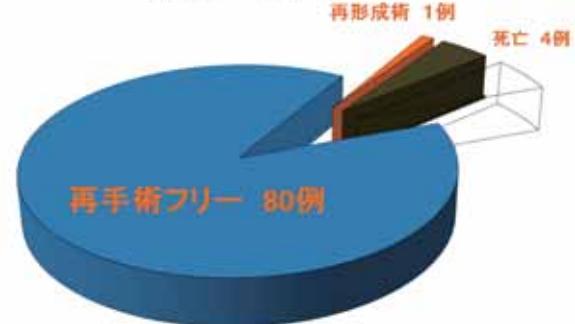
術後の再発1例で 再発回避率99%です。



#### 僧帽弁手術 90例



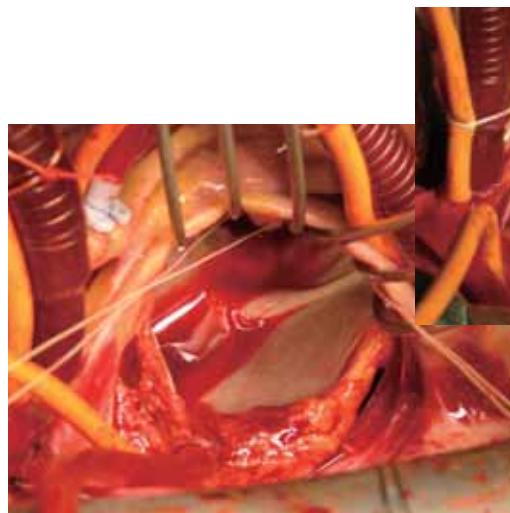
#### 術後 経過



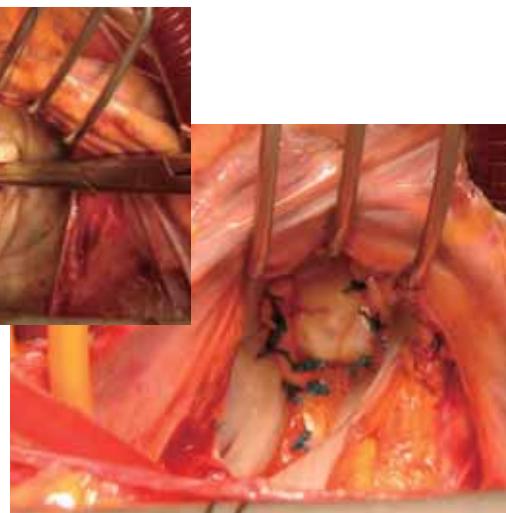
### 僧帽弁形成術の長所

人工弁を使用しない僧帽弁形成術は、術後の抗凝固療法（ワーファリン内服）が回避され、心機能も良好に温存されます。

早期退院も可能になります。



逆流の精査



リング縫着



手術風景

**弁膜症外来開設**（心臓血管外科 金曜日午後）しましたので、ご相談ください。

## 4区(中・磯子・南・西区)医師会・みなと赤十字病院合同研究会のご報告



昨年11月17日（水）4区医師会のご協力を得て、当院にて合同研究会を開催いたしました。

今回は地域医療におけるアレルギーセンターの役割に関する演題や、院長の専門である腰部脊柱管狭窄症最新治療法についての特別講演など、当院の特色を活かした研究会となりました。

また、本研究会を日本医師会生涯教育講座単位認定研究会として取り扱わせていただきました。

今後とも地域の先生方のお役に立てるよう、医療の連携を推進していきたいと存じますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

## みなとセミナー・講演会のご案内

### 第86回みなとセミナー 循環管理研修会

日 時：1月21日（金）18：30～20：30

会 場：みなと赤十字病院 3階大会議室

講演Ⅰ：「経口β遮断薬の投与により心停止を来した甲状腺クリーゼの2症例」

横浜市立みなと赤十字病院 集中治療部 藤沢美智子医師

特別講演：「周術期における短時間作用型β遮断薬の有用性 －JL-Knight Study報告－」

日本医科大学 麻酔科 主任教授 坂本篤裕先生

### 第87回みなとセミナー 第1回花粉症講演会

日 時：1月25日（火）18：00～20：00

会 場：みなと赤十字病院 3階大会議室

テーマ：「スギ花粉症の薬物療法と舌下免疫療法～患者に優しい治療を目指して～」

講 師：三重大学大学院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授 湯田厚先生

### 第88回みなとセミナー アレルギーセンター講演会

日 時：2月18日（木）19：00～

会 場：みなと赤十字病院 3階大会議室

テーマ：「間質性肺炎の臨床」

講 師：東京医科歯科大学大学院 統合呼吸器学分野 教授 稲瀬直彦先生

### 第89回みなとセミナー 第6回緩和ケア講演会

日 時：3月4日（金）18：30～20：00

会 場：みなと赤十字病院 3階大会議室

テーマ：「看とりのケア」

この他、3月にNST・耳鼻咽喉科のセミナーを開催予定しております。

詳細決定次第、別途ご案内申し上げます。お気軽にご参加くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 紹介患者さんのお問い合わせご予約は地域医療連携課

電話 045-628-6365（直通）／FAX 045-628-6367（直通FAX）  
E-mail : minato-renkei@yokohama.jrc.or.jp